

原爆忌わが胃切らるる刹那はも

藤田湘子

あれは手術台に載せられ、朦朧と麻酔が効き始め寝落ちる刹那のことであつたらうかなあ・・・と述懐する。

平成四年、湘子初めての胃癌手術（国立がんセンター）であつた。この年の八月九日「長崎忌」は日曜日。従つて八月六日（木曜日）の「広島忌」と推定される。

誰しも大手術をすると命の有り様を思わずに居られない。句集『神楽』の中で、続く二句も忘れがたい。

水母にもなりたく人も捨てがたく

二十年命儲けやいわし雲

そして、「手術を機会に煙草をやめた。四十余年の喫煙歴だからまだ習慣が抜けきらない」と『句帳の余白』の中で語っていた。